



2019 年 9 月 12 日

各 位

MBL

会 社 名 株式会社 医学生物学研究所
代表者名 代表取締役社長 山田 公政
(JASDAQ・コード4557)
問合せ先 総務部 東 成見
TEL:052-238-1901
FAX:052-238-1440
E-mail:kouhou@mbi.co.jp

産学連携全国がんゲノムスクリーニング「SCRUM-Japan」第三期プロジェクト参加について
ー 個別化医療に貢献する体外診断薬開発を推進 ー

株式会社 医学生物学研究所(本社:名古屋市中区、代表取締役社長 山田 公政、以下「当社」)は、国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:中釜 斉、東京都中央区、以下「国立がん研究センター」)が実施する産学連携がんゲノムスクリーニングプロジェクト SCRUM-Japan(Cancer Genome Screening Project for Individualized Medicine in Japan「スクラム・ジャパン」、プロジェクト代表者:東病院 長 大津 敦)の第三期の研究に参加いたします。

第三期 SCRUM-Japan への参加により、遺伝子解析、腸内細菌叢解析等から集積されるデータを活用し、個別化医療の発展に貢献する体外診断薬の開発を推進、患者さん及びご家族へより良い医療を提供するよう尽力いたします。

第三期 SCRUM-Japan について

180 以上の医療機関、11 社の製薬企業及び診断薬企業である当社が参加(合計 12 社)し、肺がん 2500 例、肺がん以外の広範な固形がん 2000 例を対象に血液を用いた遺伝子解析研究の推進、広範な固形がん患者の腸内細菌叢の研究、肺がんではアジア諸国の遺伝子スクリーニング基盤の整備が計画されています。

第一期、第二期のプロジェクトの成果として、5つの新薬(6適応)と6つの体外診断薬の薬事承認が取得され、第三期でも新たな治療法の開発やバイオマーカーの実用化が期待されます。

詳細は、本日付の国立がん研究センターによるプレスリリースをご参照ください。

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2019/0912_1/index.html

【株式会社医学生物学研究所について】

当社は、昭和 44 年に日本で最初の抗体メーカーとして設立され、現在では、臨床検査薬及び基礎研究用試薬を研究・開発・製造・販売しています。本年 2 月にコンパニオン診断薬開発受託サービスを開始し、個別化医療の推進に貢献していきます。

臨床検査薬事業では、自己免疫疾患、がん、代謝異常疾患等の臨床検査薬を開発・販売しています。自己抗体診断分野では国内トップメーカーとして製品ラインナップを充実させ、難治性疾患の多い当該分野の医療を支えています。コンパニオン診断薬分野では抗 EGFR 抗体薬の投与判断に用いる RAS 遺伝子検査試薬等の開発・販売を通して、個別化医療の実現に寄与しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 医学生物学研究所 総務部 担当:東
TEL:052-238-1901
FAX:052-238-1440
E-mail:kouhou@mbi.co.jp

以 上